

明石のぼうさい

編集発行/明石防火協会(明石市消防本部予防課内)
〒673-0044 明石市藤江924番地の8
TEL(078)918-5948 FAX(078)918-5983
ホームページアドレス: http://www.akashi-bouka.jp/



平成二十五年 自衛消防隊訓練指導会

平成二十五年九月二十五日(水)午後二時から消防本部訓練施設において平成二十五年自衛消防隊訓練指導会が実施されました。当日は、朝からスカッと晴れ渡り、七十六事業所、百十一名の参加をえて、気分も上々の雰囲気で行われました。

今年「リーダー育成訓練」をスローガンに近い将来、発生が危惧されている南海トラフ地震に対する各種訓練を実施することで、地震発生時における災害対応の強化を目的に行いました。

最初に訓練一として地震発生に伴う緊急地震速報について学び、安全行動を行う。これは、緊急地震速報の特性を良く理解し、緊急地震速報を受けた時にとっさに適切な対応行動ができるよう、日頃から準備しておくことが必要である主旨から行いました。

次に訓練二として津波警報の発表に伴い従業員等の避難誘導という想定で行いました。津波から命を守るために「より早く」、「より遠く」、「より高く」の避難の基本的な行動を見につけることを目的に行いました。

次に訓練三として正しい災害情報の入手方法を学ぶという内容で地震災害・風水害について携帯電話等で自らの情報の取り方を学びました。

次に訓練四として家族等の連絡方法について行いました。災害時の

平成二十五年 兵庫県危険物安全・安心大会



平成25年度 兵庫県危険物安全・安心大会表彰者

危険物安全週間中の平成二十五年六月六日(木)「兵庫県公館」において、県下防火協会、保安協会関係者三百名が参加し、盛大に行われました。

第一部では東京農工大学 工学府 中村昌充氏による「最近の科学プラントの事故から学ぶ安全管理の課題」と題した記念講演がありました。

第二部の表彰式では、ハニリー化成(株) 明石事業所が消防庁長官表彰を受賞されました。また、知事・理事長から表彰を受けた方々は次のとおりです。

●兵庫県知事表彰(優良事業所)
関西油脂興業(株)……………釣 悦造

●兵庫県危険物安全協会の表彰(優良事業所)
コカ・コーラエラストプロダクツ(株)明石工場
山文商事(株)セルフ大久保サービスステーション
●兵庫県危険物安全協会の表彰(優良取扱者)
明石機械工業(株)明石工場……………西海真史
川崎石油(株)……………黒木裕二

平成25年 上半期(1~6月)火災・救急の統計

火災の概要

平成25年上半期の明石市における火災件数は、36件・焼損面積は97㎡・火災損害額395万3千円・死者1名・負傷者4名です。

区分	平成25年	平成24年
建物	13	25
林野	0	0
車両	4	6
船舶	0	0
その他	19	10
合計	36	41

●出火原因(件数)

放火(含疑)	11
その他	3
たばこ	1
火遊び	3
ストーブ	0
こんろ	1
不明・調査中	10
内燃機関	2
電気機器	1
風呂かまど	0
ライター	0
火入れ	2
たき火	1
切断機・要断機	1
合計	36

●火災損害

焼損棟数	全焼 2棟
	半焼 0棟
	部分焼 7棟
焼損面積	97㎡
り災世帯	全損3世帯
	半損0世帯
	小損6世帯
り災人員	18人
損害額	3,953千円
(建物)	3,746千円
(車両)	172千円
(その他)	35千円

救急の概要

●前年度の比較(件数)

区分	平成25年	平成24年
火災	21	27
自然災害		1
水難	7	8
交通事故	546	554
労働災害	37	28
運動競技	18	17
一般負傷	921	855
加害	42	38
自損行為	72	74
急病	3,896	3,560
その他	762	686
合計	6,322	5,848



火災件数は前年の41件から5件減少しました。火災による死者は1名で1名増加し、負傷者は4名で5名減少しています。主な出火原因を見ると、1位が「放火・放火の疑い」11件、2位は「火遊び」と「その他」で3件、3位が「内燃機関」と「火入れ」で2件となっています。火災件数の中で「建物火災」は13件で前年より12件減少し、「その他火災」は19件で9件増です。また建物火災の中で損害額については、前年より81.7%と大きく減少していることから現在でも推進している住宅用火災警報器の設置の効果が出ていると思われます。救急出動件数は6,322件で前年より474件増加しました。救急事故種別は1位急病3,896件、2位一般負傷921件、3位交通事故546件となっています。



N T T災害用伝言ダイヤルの操作方法について学習しました。最後に訓練五として消火器を使用した消火訓練、濃煙体験テントによる避難訓練を行いました。

参加された方々からは参加して良かったという多くの声を聞くことができました。

あんしん情報



去る八月十五日、福知山市で開催された花火大会において爆発様の事故が発生し、多数の死傷者が発生してしまいました。

平成十三年の明石市民夏まつり事故を経験した私たちにとっては、非常に悲しい出来事であり残念でなりません。亡くなった方々のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、ご家族に対し心からお悔やみを申し上げます。さて、同様の事故を二度と起こしてはならないので、ガソリン等の引火性液体や火気の取扱いについてお話をしたいと思います。

◆ガソリンの特製

- 引火点はマイナス四十度と低く、ほんの小さな火花でも引火します。
- 揮発しやすく、その気化ガスは空気より3~4倍重いため、低部に滞留します。
- 電気的不良導体なため、流動により静電気が蓄積しやすい。

◆ガソリンの取扱い上のポイント

- 認定を受けている金属製の携行缶で保管しているか?
- 携行缶に損傷、漏れ等はないか?
- 換気が良く、涼しい場所に保管しているか?
- 静電気の蓄積防止のため、地面に直接置くのが望ましい。
- 保管時は完全に密栓しているか?
- 一か所に四十リットル以上保管していないか?
- 発電機等が稼働中に給油していないか?

編集雑感(後記)



みなさんこんにちは。今年の夏は大変な酷暑でした。また、ゲリラ豪雨・竜巻などの自然災害も各地で発生し、大きな被害をもたらしました。

さて、最近朝晩が涼しくなってきたので、肌寒いぐらいですが、私は四季の中で秋が一番好きです。

夜、散歩によく出かけますが、風に当たるととても気持ちがいいです。秋を痛感するとともに心身がリフレッシュできて着きます。ぜひ、秋の夜風に当たってみてください。おすすすめします!

が、風に当たらずに風邪を引かないように気を付けてください。

濃煙体験テント

この度、消防訓練用資機材として「濃煙体験テント」(サイズ:三m×六m×二.二m)を購入させていただきました。

アルミ合金フレームでテントはタールポリレン生地を使用し、特徴は軽量でジャバラ式で伸縮自在、少人数で設置撤去ができ、所要時間も大幅に短縮できるのが特徴です。

会員事業所の皆様にも自社で訓練する場合は是非、活用していただければと考えております。



※イベントやお祭りをする際のチェックリストは明石市のホームページ(消防部分)に掲載しています。

(P.S)この「あんしん情報」は今後、シリーズ化をする予定です。お楽しみに!

防火協会視察研修

防火協会の定例行事である視察研修が七月五・六日の両日にわたり、先進都市事業所の防火管理体制を見習うべく、広島方面への視察研修を実施しました。

一日目は、廿日市市のカルビー(株)広島工場を視察しました。同社はテレビのCMでもおなじみの「カップえびせん」や「おさつスナック」などを製造していますが、当日は食品衛生のゆき届いた高い品質管理のもと、製造現場をつぶさに見学できました。

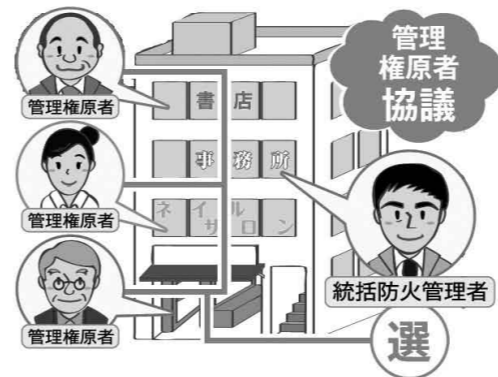
二日目は、広島市中区にある広島市環境局中工場を見学しました。近代的な清掃工場で焼却設備は、精密な自動



化運転により省力化され、高温完全焼却を行っています。また、排ガス中のばいじんやダイオキシン類をはじめとする有害な物質を除去し、騒音、悪臭を外に出さない施設になっていました。さらに、工場内で発生する余熱を利用して工場内で使用する電気などを色々細部まで工夫されたところに感心しました。

雑居ビル等における防火管理体制の充実(消防法の改正内容)

近年、雑居ビル等で多くの死傷者を伴う火災が相次いで発生していることや、東日本大震災での激しい揺れにより、高層ビル等において人的・物的被害が発生したことを受け、管理権原者は、協議により選任した統括防火防災管理者に建物全体の防火防災管理上必要な業務を行わせることにも、その旨を消防機関に届け出ることが必要となりました。



医療福祉防火管理研究部会

当部会の定例行事である視察研修が九月十二日(木)に実施されました。田中部会長以下部会員二十五名が参加しました。

今回は、京都市中京区にある(株)島津製作所本社・三条工場を見学しました。三条工場では精密機器、計測器、医療機器の製造を行う事業所です。

当日は、デジタルX線システム、CTスキャナーシステム、超音波システムなどの医療用画像機器を見学させていただきました。

昼食後、右京区西京極にある「八つ橋庵としゅうのやかた」で生八つ橋の手づくり製造体験もでき、楽しいひとときを過ごすことができました。



消防訓練のお知らせ

訓練1
日時 平成二十五年十一月八日(金)
 十時～十時四十分

場所 明石市二見町福里704
 八二一化成(株)明石事業所

目的 火災の発生しやすい気候となる時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、火災等による死傷者の大幅な減少と財産の損失を防ぐとともに、昨年九月に姫路市で発生した(株)日本触媒姫路工場、屋外タンク貯蔵所の爆発事故を踏まえ、自衛消防隊の更なる技術の向上と消防署との適切な連携を図ることを目的として実施します。

訓練2
日時 平成二十五年十一月八日(金)
 十四時～十四時三十分

場所 明石市大久保町大窪3101の1
 介護老人保健施設 恵泉

目的 夜間の火災発生時における自衛消防隊活動を行う職員等がとるべき対応事項を検証するとともに、対応行動を施設等の防火安全上の条件である限界時間内に実施することを目標として訓練を実施する。また、検証することによって訓練実施の効果を確認し、改善を行うことにより、夜間の防火管理体制の強化を図る。

平成二十五年 秋季火災予防運動

十一月九日(土)～十五日(金)

〔防火標語〕

「消すまでは 心の警報 ONのまま」

〔目的〕

火災の発生しやすい気候となる時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、火災による死傷者の発生や財産の損失を防ぐとともに、特に高齢者等を中心とする死者の発生を大幅に減少させることを目指して展開されます。

〔防火ポスター表彰式〕

十月二十四日(木)

〔防火ポスター展〕

十月二十四日(木)～
 十月三十一日(木)
 市役所二階ロビーで展示

十一月十一日(月)

十一月十八日(月)
 イオン明石ショッピングセンターで展示

実施要領

〔重点目標〕

- 1 住宅防火対策の推進
- 2 放火火災対策の推進
- 3 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- 4 製品火災の発生防止に向けた

〔推進項目〕

- 1 住宅防火対策の徹底
 - ア 住宅用火災警報器の設置徹底及び適切な維持管理の周知
 - イ 住宅用消火器を始めとした住宅用防災機器等の普及促進
 - ウ たばこ火災に係る注意喚起広報の実施
 - エ 防災品の普及促進
 - オ 消防団、婦人防火クラブ及び自主防災組織等と連携した広報・普及啓発活動の推進
 - カ 地域の実情に即した広報の推進と具体的な対策事例等の情報提供
 - キ 高齢者等の災害時要援護者の把握とその安全対策に重点を置いた死者発生防止対策の推進
- 2 放火火災予防対策の推進
 - ア パチンコ店及び物品販売店舗における放火火災防止対策の徹底
 - イ 放火火災による被害の軽減対策の徹底
- 3 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
 - ア 防火管理体制の充実
 - イ 避難施設等及び老朽化消火器を始めとする消防用設備等の維持管理の徹底
 - ウ 防災物品の使用の徹底及び防災製品の使用の促進
 - エ 防火対象物定期点検報告制度の周知徹底
 - オ 違反のある防火対象物に対する是正指導の徹底
 - カ ホテル・旅館等における防火安全対策の徹底

〔実施事項〕

- 1 広報
 - ア 「広報あかし」に火災予防運動記事掲載
 - イ 消防本部ホームページに火災予防運動紹介
 - ウ 防火ポスターの作成・配布
 - エ 消防本部及び各署で横断幕、懸垂幕、のぼり旗の掲出
 - オ 屋外文字広報による火災予防のよびかけ
 - カ 自治会回覧等を活用し、住宅用火災警報器、たばこ(ライター)の火災予防及び石油ストーブ火災予防に関する啓発を実施
- 2 啓発行事
 - ア 防火ポスター展の開催
 - イ 防火パレードの実施(消防団、婦人防火クラブ)
 - ウ 消防訓練の実施
 - エ 防火指導・イベント等における住宅用防災機器等の設置促進及び広報
- 3 査察
 - ア 店舗等の特定防火対象物の立入検査
 - イ 自治(町内)会の防火防災指導
 - ウ 事業所の防火訓練指導
- 4 査察・防災指導
 - ア 自主防災組織の訓練指導

平成二十五年度 明石市危険物防災講演会

六月四日(火)明石市立産業交流センターにおいて「化学事故と安全文化」と題する講演会を独立行政法人の若倉正英氏を講師に迎え開催しました。市内の五十七事業所から百三十二名の危険物取扱者等が出席し、化学事故に対する施設管理や事業所防災など共通するところも多くあり、実りのある講演会でした。

